

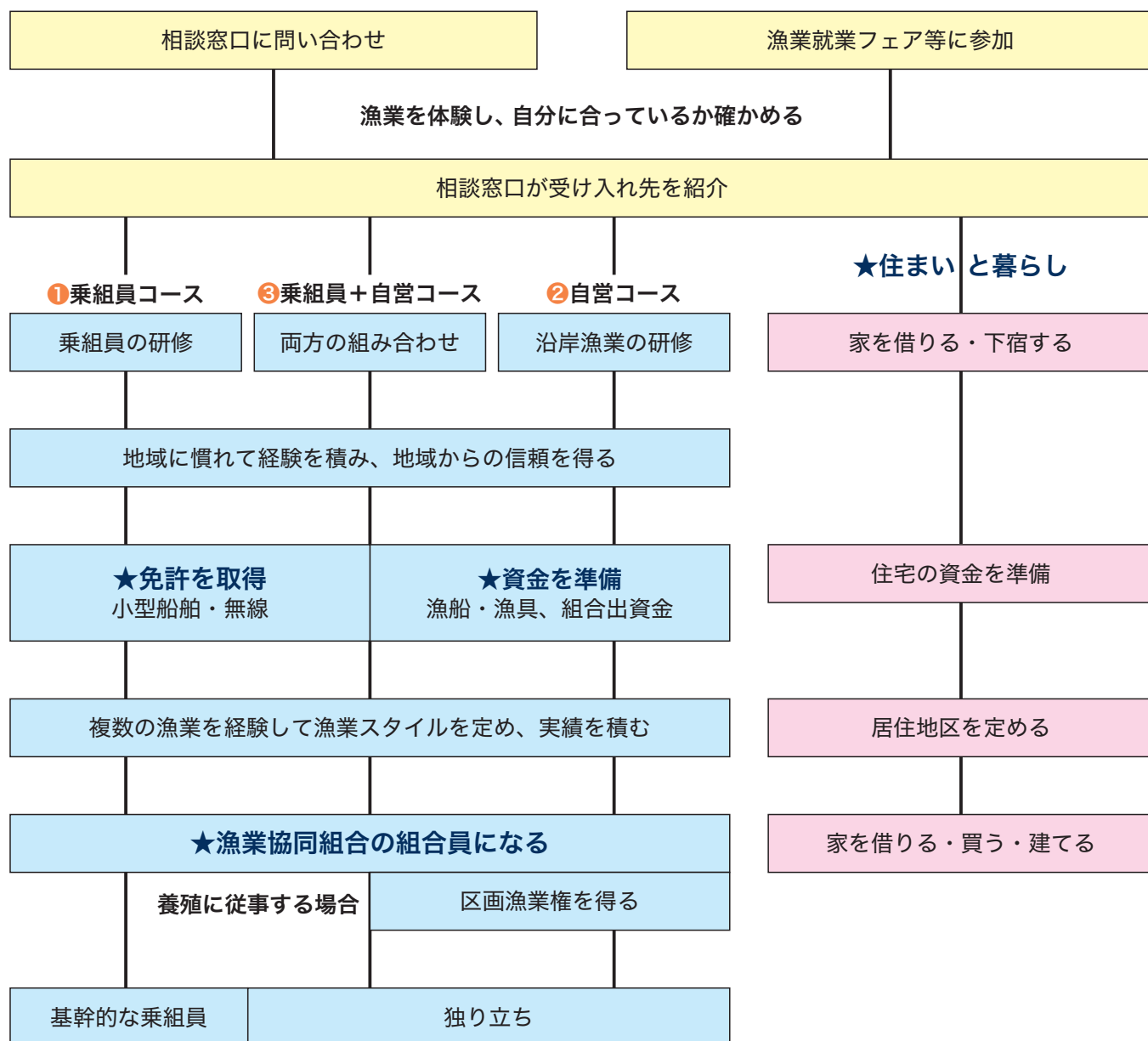
漁師になるためのステップ



漁業者は大きく3つのコースに分かれます。①乗組員、②自営漁業者、③乗組員と自営漁業の組み合わせです。

▼ 新規漁業就業者のステップイメージ

★情報を集めよう



重要なのは、漁業や地域に慣れて漁業経験を積み、地域の人から信頼を得ることです。それとともに、本格的な漁業者になる際に必要となる資格を取得し、資金を準備しておくことも大切です。

地域の人からよくやっていると評価され、自身でもある程度、慣れてきたなという実感が得られるようになった頃に、漁業協同組合の正組合員資格の認定のための審査が行われます。



情報を集める

国や都道府県、市町村、漁協などが漁業新規参入をサポートしています。

- 全 国：一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター
☑ <https://ryoushi.jp/> ☎ 03-5545-1617
- 青森県：佐井村役場総合戦略課 ☎ 0175-38-2111
下北地域県民局地域農林水産部 むつ水産事務所 ☎ 0175-22-8581
青森県漁業就業者確保育成センター ☎ 017-734-9592
- 漁業育成研修：青森県では漁業者の育成研修を目的とした「賓陽塾」^{ひんようじゅく}を開講しています。詳しくは裏表紙をご覧ください。



免許・資格

- 船舶操縦士免許：小型船舶操縦士免許（2級・1級）を取得するのが一般的です。
- 漁業無線（海上特殊無線技士免許）：海上では、無線による情報交換が重要な役割を果たします。携帯電話が普及していますが、沖に出ると通じなくなります。その他、クレーン免許も取得していると、^{そこたてあみ}底建網漁業や^{ていち}定置漁業で役立ちます。青森県では漁業者を育成研修する賓陽塾を運営しています。ここでは、漁業基礎研修（水産知識・漁業技術・視察研修）の受講だけでなく、小型船舶操縦士・海上特殊無線技士、潜水士の免許を取得することができます。



資金

- 漁船：規模や設備によって価格が大きく異なります。この頃は、漁業を引退する高齢漁業者が増えているので、安く譲ってもらえることもあります。
- 漁具：漁業種類によって異なります。これも引退する漁業者から安く譲ってもらえることがあります。
- 漁業協同組合（漁協）の出資金：漁協の組合員になるときに必要です。金額は漁協により異なります。



漁協の 組合員資格

自営漁業を行おうとする場合、各漁業協同組合で行われる資格審査で認められる必要があります。組合員になるためには、その地域に住んで、その地域で漁業に従事した実績（概ね90日～120日以上）、暴力団でないことなどが求められます。



住まいと暮らし

はじめは空き家を借りたり、下宿するケースがほとんどです。経験を積み、自身が従事する漁業や地区が定まってきた段階で、より安定的に住める住宅を定めます。

気持ちよく暮らしていくためには、地域の生活や漁業のルールを理解することが重要です。なかには暗黙のルールもありますので、地域の人たちとコミュニケーションをとって徐々に理解しましょう。